ナチズムから平和を考える

～行き過ぎた相対主義に抗するには～

芦屋「九条の会」19 周年記念のつどい

もうやめて！無差別殺戮は…。ガザやウクライナなど世界各地で多くの市民が戦争で犠牲になっています。戦争のない平和な世界にと、心が痛む日々です。

今回、『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？』の著者と、ナチズムの問題を今日の視点から考えたいと思います。「ヒトラーは民主的に選ばれ、失業対策や福祉政策など良いこともした」と評価されることがあります。本当に誰もが等しく恩恵を享受できたのでしょうか。歴史修正主義が影響力を持つなか、多角的な視点で歴史を考察することの大切さについてお話いただきます。

講師 田野大輔さん（甲南大学文学部教授）

1970 年東京都生まれ。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士（文学）。専門は歴史社会学、ドイツ現代史。
著書に『ファシズムの教室』（単著）、『検証　ナチスは「良いこと」もしたのか？』（共著）、『〈悪の凡庸さ〉を問い直す』（共編著）などがある。

2024 年 5 月 12 日（日）

14:00～16:30（開場 13:30）

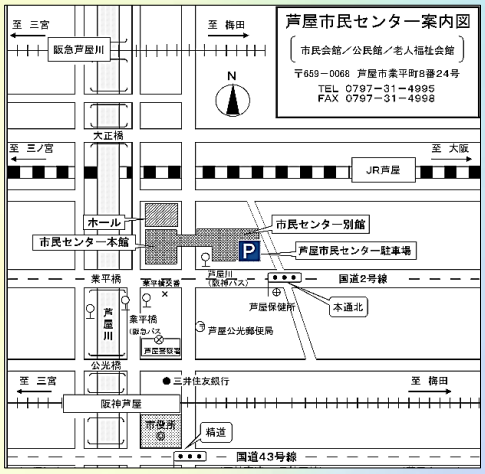
芦屋市民センター　301 室

（芦屋市業平町 8 番 24 号）

資料代　500 円

（大学生以下・障がい者無料）

手話通訳あり



主催　芦屋「九条の会」

連絡先：片岡 ☎090-7118-2312

後援　芦屋市・芦屋市教育委員会